



温泉の成分及び飲用上の注意

(東道後温泉久米之癒)

成 分				飲用上の注意	
1 源泉名 東道後第2源泉 松山市南久米町134-2 2 泉 質 単純温泉 (低張性弱アルカリ性低温泉) 3 泉 温 源 泉 33.1℃ (気温12.0℃) 使用位置 9℃、27℃ 4 温泉の成分 (1) pH値 8.3 (2) ラドン含有量 2.2×10^{-10} キュリー /kg (0.60 M・E/kg) (3) 試料1kg中の成分及び含量 イ 陽イオン				1 飲用上の注意事項 ア 飲泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。 イ 温泉飲用の一回の量は一般に100mlないし200ml程度とし、その一日の量はおおむね200mlないしは1000mlまでとすること。 ウ 強塩泉、酸性泉、含アルミニウム泉及び含鉄泉はその泉質と濃度によって減量し、又は希釈して飲用すること。 エ 以上のほか、飲用については次の諸点について注意すること。 (ア) 一般には食前30分ないし1時間がよい。 (イ) 含鉄泉、放射能泉及びヒ素又はヨウ素を含有する温泉は食後飲用する。含鉄泉飲用の直後には茶、コーヒーなどを飲まない。 (ウ) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けることが望ましい。	
成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)		
ナトリウムイオン	36.8	1.60	61.78		
カリウムイオン	0.7	0.02	0.77		
マグネシウムイオン	0.1	0.01	0.39		
カルシウムイオン	19.3	0.96	37.07		
ストロンチウムイオン	0.2	0.00	0.00		
ロ 陰イオン					
成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)		
フッ素イオン	0.2	0.01	0.40		
塩素イオン	7.4	0.21	8.47		
硫酸イオン	13.8	0.29	11.69		
炭酸水素イオン	116.4	1.91	77.02		
炭酸イオン	1.8	0.06	2.42		
硝酸イオン	0.2	0.00	0.00		
ハ 遊離成分					
非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)			
メタケイ酸	40.4	0.52			
メタホウ酸	0.2	0.00			
非解離成分 計	40.6	0.52			
溶存ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)			
—	—	—			
ニ 溶存物質 (ガス性のものをのぞく) 0.2375g/kg					
ホ 成分総計 0.2375g/kg					
ヘ その他微量成分 mg					
リチウムイオン	0.06	総水銀	0.0005	未満	
アンモニウムイオン	0.1	鉛イオン	0.001	未満	
バリウムイオン	0.1	臭素イオン	0.1	未満	
アルミニウムイオン	0.05	ヨウ素イオン	0.1	未満	
総クロム	0.005	水酸イオン	0.1	未満	
マンガンイオン	0.005	総硫化水素	0.05	未満	
鉄(II)イオン	0.05	チオ硫酸イオン	0.1	未満	
鉄(III)イオン	0.05	リン酸水素イオン	0.1	未満	
銅イオン	0.005	総ヒ酸	0.005	未満	
亜鉛イオン	0.005	亜硝酸イオン	0.1	未満	
カドミウムイオン	0.0005	セレン	0.001	未満	
5 温泉の分析年月日 平成14年12月24日 6 登録分析機関の名称及び登録番号 愛媛県立衛生環境研究所 第1号 平成14年4月4日					
成分に影響を与える項目					
1. 加水している場合 _____ 2. 加温している場合 _____ 3. 循環利用している場合 _____			4. 入浴剤等を添加している場合 _____ 5. 消毒処理している場合 衛生管理のため浄水器及び紫外線殺菌機を使用しています。		

平成18年12月 1日

松 山 市

